

広報 たかのす

平成13年

む っ き
睦 月



<http://www.kumagera.ne.jp/prtaka>

TAKANOSU

迎春

国指定史跡

伊勢堂岱遺跡

2001



謹賀新年

「明日にかける橋」——実現に向かって



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新世紀を向かえ、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。昨年は、地方分権一括法をはじめ、介護保険法・容器包装リサイクル法がスタートし、生活に関することは、自ら決定・実行する本来の自治体運営の初年度となりました。

このような中で、町がすすめてまいりました住民参加のまちづくりが評価され、その代表的なワーキンググループ活動が自治大臣表彰を受賞しました。また、全国で使われている小学校の教科書にも、ワーキンググループ活動が紹介されております。

これからも、引き続き町政の主人公である住民「参加」・「参画」を大切にしてまちづくりを進めてまいります。

今年のテーマは、「明日にかける橋」——実現に向かって。

これは、町が掲げている「三つの構想」「三つの安心」を更に進め、実現を図るため一つひとつ『かけ橋』をつくり、目標に向かって努力するためのテーマであります。

平成13年度は、将来をみすすめる重要施策として、

一、鷹巣中岱橋（仮称）の早期実現

二、日本海沿岸東北自動車道・インターチェンジの早期具体化

三、町独自の「子育て支援システム」づくり

に取り組むとともに、歩いて暮らせるまちづくりプロジェクトの事業化、ケアタウン2期工事、担い手育成基盤整備事業、農業集落排水事業、高野尻町営住宅の建設、伊勢堂岱遺跡史跡指定記念イベント、19年国体への対応などを積極的に進めてまいります。

今年は、町にとって非常に重要な年であり、精一杯頑張つてまいりたいと考えております。

最後に、今後ともなお一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

平成十三年 元旦

鷹巣町長 岩川 徹



「蛇足」はよく知られてい

21世紀の始まりの今年は、低迷していた景気から脱出して春を迎え、みんなが安心して心豊に暮らせる年にしたいものです。

第39回市民スキ大会

参加選手の申し込みは1月15日(月)まで

小・中学生 → 各学校まで

高校生・一般 ➡ 各地区公民館まで

※鷹巣地区の場合は、中央公民館、鷹巣体育館へ申し込みください。

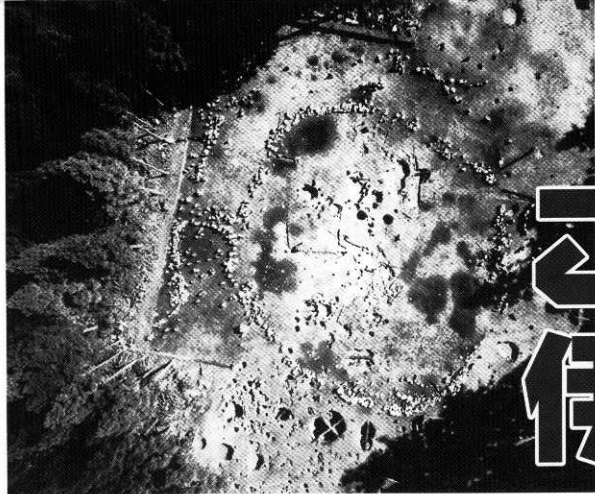
選手の変更は、原則として認めません。一般の当日申し込みはオープン

《種 目》 ◎大回転・距離競技とも人数制限はありません

小学校の部	大回転(3年以下・4・5・6年男女) 距離(3年以下・4年男女1km、5・6年男子3km、女子2km) 地区対抗リレー(男子2km×4人、女子2km×3人)
中学校の部	大回転(男・女) 距離(男・女とも3km)
一般男子の部	大回転・距離(青年2km、成年・壮年1・2部は1km) スノーボード(高校生～) ※青年 高校生～30歳、成年 31歳～40歳、壮年1部 41歳～50歳、壮年2部 51歳以上
一般女子の部	大回転 女子1部(高校生～30歳) 女子2部(31歳以上) スノーボード(高校生～) 距離 女子1部(高校生～30歳)、女子2部(31歳以上) 1部、2部とも1km
地区対抗リレー	小学校男女各1人・一般2人(1km×4人) ※小学校男女については、リレー選手以外とする
職場対抗リレー	男女関係なく3人(1km×3人)
歩くスキー	競技種目出場選手以外の子どもから大人まで、誰でも参加できます(約1km) ※参加者全員に参加賞を進呈します。

《表 彰》各種目、小学生は10位、中学生以上は3位まで賞状を、また、個人優勝者にはメダルを授与します。
リレー優勝チームには優勝カップ(持回り)を、6位までは賞状を授与します。

国指定史跡 ここがすごい 伊勢堂岱遺跡



環状列石 A



国指定史跡の範囲

これまでの調査から 発見したもの① 検出遺構（祭りの施設）編

4つの環状列石 国内最大級の環状列石Cも

伊勢堂岱遺跡では舌状台地の北西端部に密集するように4つの環状列石が見つかっています。

環状列石（ストーンサークル）は大量の河原の石を円形に配置して作られた縄文人の祭り・祈りの施設のことをいいます。3つ以上の環状列石が密集する遺跡は、全国でも例はなく、伊勢堂岱遺跡だけの特徴です。なかでも、環状列石Cは国内最大級の環状列石として注目されています。

4つの環状列石は未調査の部分を残していますが、列石全体の形状や列石構築時期の差、個々の環状列石を作った集団の違い、行なわれた祭祀の違いなど、今後の調査で様々な謎が解明されることでしょう。

日本の大切な遺跡として国指定へ

みなさんは沢口地区小ヶ田の伊勢堂岱遺跡に足を運んだことがありますか。

町の重要な史跡として多くの見学者が訪れている伊勢堂岱遺跡が、このほど、「縄文時代後期（約4千年前）の複数の環状列石とそれに伴う建物跡や墓など、当時の祭祀（祭り・祈り）に関する様々な施設が発見されたうえに、当時の土木工事例としても重要な施設も見られ、当時の典型的な祭祀遺跡として極めて重要である」として、国の文化財保護審議会から文部大臣へ、国指定史跡に指定するよう答申がおこなわれました。

これを受けて、1月中旬、伊勢堂岱遺跡の国指定史跡について告示が行われ、正式に国指定史跡として認められます。

今号では、この「縄文の祈りの聖地」伊勢堂岱遺跡の発見から国指定までの経過やこれまでの調査成果、住民参加による今後の遺跡の整備・活用の計画などについて特集します。



環状列石Dの説明をきく



環状列石B



石の散在する場所



花びら状の配石遺構



環状の配石遺構

はいせきこう 配石遺構（組石）

複数の石を形や並びなどを意識して配置した祭祀施設です。中には墓穴の上に作られ、墓標の役割を持ったものもあります。

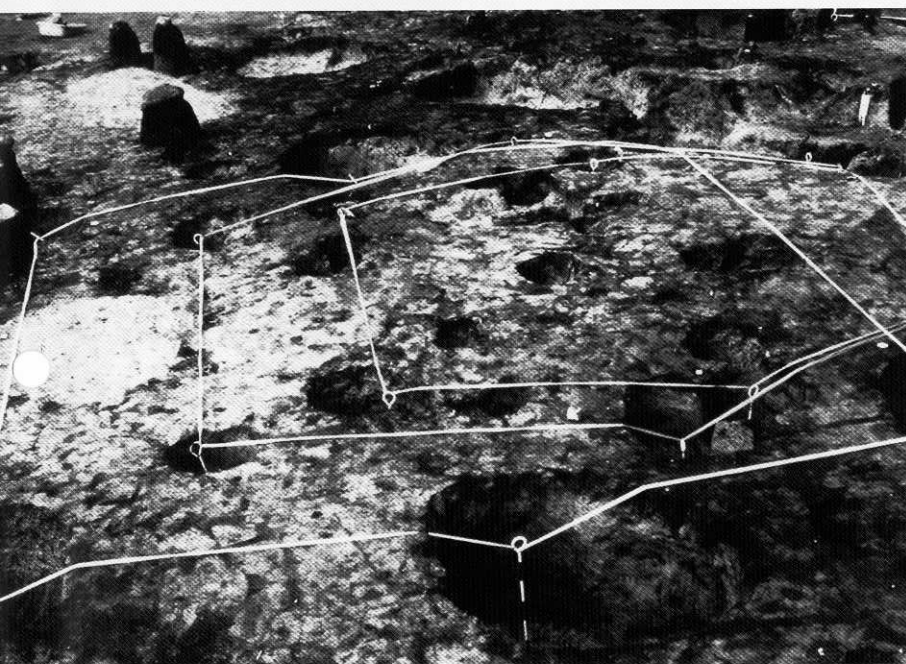
花びらの形をした配石遺構や直径10mの環状のもの、直径60cmの二重の石の環など、様々な配石遺構が確認されています。

また、配石遺構とは認められないものですが、おびただしい数の石が広い範囲に散在している場所もみつっています。



ここがすごい 伊勢堂岱遺跡

これまでの調査から
発見したもの①
検出遺構（祭りの施設）編



ほりたてばしらたてもぐん 掘立柱建物群（建物の柱の跡）

環状列石Cの周囲を巡る建物跡です。建物は6本の柱で構成され、環状列石の周囲を巡ると想定されています。いくつかの建物が重なり合っており、何度も建て替えが繰り返されていたようです。

これらの建物は環状列石で行われた儀式に用いられた施設と考えられ、祭りの際に一時的に滞在したキャンプ的な建物、亡くなった縄文人を一時的に安置した葬式の建物、祭りの際に祈とう師がこもった建物、などの諸説があります。

どこうほ 土壙墓（墓穴）

環状列石の内側や周辺からはたくさんの墓が見つっています。何度も掘り返し広げられた墓穴や単独の墓、柱の穴に囲まれ、屋根がかかっていたと考えられる墓穴などもあります。

それらの多くは遺体を葬った後に、土を穴に埋め戻したあとが見られないため、遺体を埋めずに一定期間安置しておくための墓であったと考えられます。

また、土器、石刀、三脚石器、鐔形土製品、石などが供えられた墓もありました。



何がわかったのか？
縄文ロマン
当時をおもう

広大な祭祀の場

これまでの調査の結果、伊勢堂岱遺跡は標高40m前後の台地全体（約20ヘクタール）に広がっていることがわかりました。

さらに、見つかった遺構や遺物の分布の様子を見ると、遺跡が土地利用の面で行くつかの区域に分かれることがわかりました。

台地の北半分は石を運び込んで造られた祭祀の場と考えられます。さらに、環状列石が築かれた区域、小規模な配石遺構が築かれた区域、石が散在する区域に分かれます。

南半分は東西二つに分かれ、東側の石を用いない祭祀区域、西側の遺構・遺物が少ない区域とに分かれます。

各区域はお互いが密接な関連をもっていたと考えられます。

あらゆる儀式の場

検出された遺構や出土した遺物から、伊勢堂岱で行なわれた儀式が想定できます。



まいせつどき 埋設土器

土器に遺骨を納め、穴に埋めた墓です。土壌墓に遺体を葬り一定期間経ったあと、遺体を取り出し、骨を納めたと考えられます。

さわ 沢（捨て場）

列石Aの東に隣接する沢は、環状列石での儀式に使用された道具を捨てた（納めた）、もの送りの場と考えられます。

沢からは縄文土器や石器、土製品や石製品など様々な出土品が見つっていますが、これらは環状列石で行われた儀式がどのようなものであったか、推定する手がかりを与えてくれます。



みぞあと 溝 跡（赤線部分）

台地東側の地域では、沢に挟まれ張り出した地形を区切る溝が複数見ついています。

中には、幅1・2メートル、深さ50cm、全長約100mという大規模なものも存在します。

地形的に排水のためとは考えられず、土地を区分けするための溝と考えられます。

大規模な土木工事

縄文人は場所を選び、その土地を掘削し内側が平らな広いくぼ地を造り出し、その縁に石を並べて環状列石を築きました。

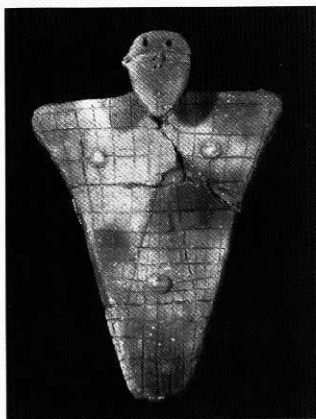
また、列石Cでは掘り上げた土をもどし、環の内部を平らに踏み固め、さらに3重の円環のうち、外側の2つの環の間に土を高く盛りました。

環状列石は削る（掘る）・盛るといった大規模な土木工事によって造られました。

さらに、列石を造るために大量の石が河原から運び上げられました。列石に使用されている石は小猿部川、阿仁川、米代川等の河川から運ばれていることが推定されています。

環状列石で使用されている大きな礫が見られる河原を現在の川で調べると、遺跡から5km以上離れていることを確認しています。このよう

たくさんの墓からは葬式や、祖先をまつる儀式が考えられます。狩りや漁に使われた石器、動物形の土製品などからは自然を敬い、収穫を祈願した儀式が考えられます。また、幼児の足を型押しした土製品も出土しており、成長の通過儀礼が行われたものと考えられます。伊勢堂岱遺跡は縄文人の生死を含めた、生活の節目の祭り・祈りの儀式の場であったと考えられます。



どぐう 土偶

板状の土偶や、立体的な体をもった土偶が見つっています。土偶は土で作った人物像で、ほとんどが女性を表現しているものです。なんらかの儀式に用いられた道具と考えられます。



どせいひん 土製品

様々な形をした土製品も発見されています。装飾品や儀式に使われた道具のようです。きのこ形土製品・動物形土製品・鐸形土製品・渦巻文土製品・ミニチュア土器（赤彩）、指輪形土製品などが見つっています。

じょうもんどき 縄文土器

ほとんどが縄文時代後期前葉の十腰内I式土器と呼ばれる土器です。渦巻模様などの幾何学的な模様が描かれています。土器の形は豊富で、深鉢・鉢・壺・皿などが見つっています。



当時の社会と祭祀

に、運ぶという大変な作業も行なわれました。
また、全長100mの溝は、掘り上げた土を外側に盛っていたことを確認しており、掘る、盛るといった大規模な工事によって造られました。このように、縄文人たちは現在のような道具がなかった時代に大規模な工事を行なっていました。
環状列石や溝跡は縄文人の土木工事の様子を示す全国でも貴重な例です。
これらの大工事を行なうには、高度な組織力が必要です。縄文時代には我々の想像以上に進んだ社会があったと考えられます。

伊勢堂岱遺跡は環状列石などに代表される縄文時代後期の集団祭祀跡の典型例と考えられています。

縄文時代後期の北東北・北海道を中心に発展したこの環状列石はどうして造られるようになったのでしょうか。

それは当時の社会構造が背景にあると考えられています。

伊勢堂岱遺跡の時期をさかのぼること約1千年、縄文時代中期には三内丸山遺跡（青森県）に代表される大集落が営まれていました。

しかし、これまでの東北地方・北海道の発掘調査例から、それらの大

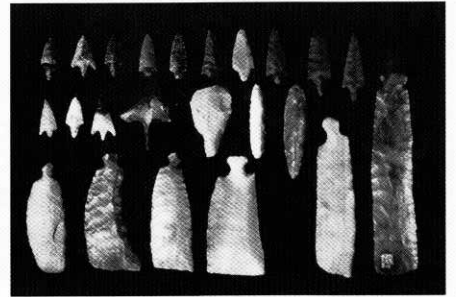
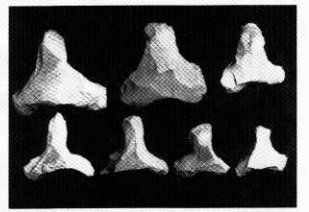
ここがすごい 伊勢堂岱遺跡

これまでの調査から

発見したもの② 出土遺物（道具など）編

伊勢堂岱遺跡から出土した遺物の多くが、縄文時代後期に属するものです。

儀式に用いられた道具として、土器、石器、土製品、石製品等、様々なものが出土しています。



せっき 石器

石族（矢じり）や石槍、石匙（つまみのついたナイフ）、石斧、石錐（きり）、石錘（網のもおり）、など、さまざまな石器が見つかっています。狩りや漁の成功など、日々の収穫を祈願する祭りの道具として用いられたのでしょうか。

また、用途不明の三脚石器という石器も大量に見つかっています。

集落は中期の終わりに姿を消し、小規模な集落に分散したと考えられます。原因としては、気候の寒冷化による食料の減少や、大規模になりすぎたことによる環境衛生の悪化、集団としてのまとまりを欠くようになったためと考えられます。

各地に分散しても、人々はお互いに一緒に住んでいた一族を忘れることなく、祭祀によって伊勢堂岱遺跡に代表されるような「祈りの聖地」

に集まり、一族の絆を確かめ合ったようです。

環状列石は生活の節目に一族が集い、祭り・祈りの舞台として築かれた施設であったと考えられます。

縄文人のこころ 精神文化の面から

環状列石は大変な土木工事を行なうまで作られた記念物で、一族の

絆・誇り、自然を敬い共生する、死者との魂の交感など、縄文人のこころが表現された貴重な施設です。

現在、伊勢堂岱遺跡には毎年5千人以上の見学者が訪れます。これは現代人が失った縄文のこころを無意識に探し求めているからかもしれません。

遺跡はこれからどうしていくのか どうしたいのか

遺跡の整備・活用

遺跡の活用

町ではワーキンググループや調査指導委員会とともに整備・活用を検討しています。

住民参加のまちづくりの一環として、ワーキンググループをはじめ、広く町民が関われるような活用や誘客資源としての活用をすることを基本とし、そして、「住民の学習の場・憩いの場としての活用」、「体験活動の場としての活用」、「他に例のない、全国から人々が参加するイベント」の実施を考えています。今年2月～3月に鷹巣町縄文シンポジウム、5月頃に国指定祝賀イベ

ントを予定しており、現在ワーキンググループを中心に内容の詳細を検討しています。

なお、これらの整備・活用の多くはワーキンググループの提案から生まれたものです。

実施についても、ワーキンググループを中心に住民参加のかたちで進めていく予定です。

遺跡の環境整備

「縄文のこころとかたちが生きる遺跡」を基本理念として、縄文のこころを表現した整備することを考えています。

整備の方針として、

「住民参加による整備」

「史跡と景観の保全を図る」

「調査研究の場としての整備」

「体験と憩いの場としての整備」

「展示と学習の場としての整備」

「観光と情報発信の場としての整備」の6点があげられます。

具体的には、遺跡と周辺の土地の公有化し、史跡・史跡外（遺跡の範囲）・遺跡周辺の3つの区域に分けての整備、展示・体験学習施設を含む歴史公園として整備し、住民の心の拠り所とすることなどが提案されています。

本格的な整備には十分な時間をかけて検討し、長期計画を立て進めていく予定ですが、仮整備を含めた短期的な整備はすでに開始されています。

来年度はワーキンググループと共同で遺構の簡易復元やアクセス（道路案内板・遺跡進入路等）整備、簡易展示室や縄文植物園の設置などを検討しています。

伊勢堂岱遺跡の国指定決定以後は、調査だけでなく整備・活用についてもさらに取り組んでいく予定です。

遺跡に関する活動はさらに活発に行なわれることでしょう。

住民参加の遺跡の整備・活用を目指し、町では、整備に関する作業、イベントの企画や実施など、町のみならずの積極的な参加を期待しています。

「初夢は伊勢堂岱の世界遺産化」

中嶋 修三さん



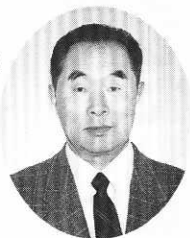
この地に素晴らしい文化遺産を創造された全住民に、まずもって畏敬の念を捧げる。

伊勢堂岱遺跡の将来展望については、國學院大学小林達雄教授氏の説明がすべてを尽くしているのではないだろうか、「私は将来の目標として世界遺産ということを頭に入れている。伊勢堂岱に近く、同じようにストーンサークルを持つ鹿角市の大湯、青森県の小牧野遺跡と合わせて実現させたい。文化庁は縄文遺跡の中でも特にストーンサークルを縄文文化の象徴として世界遺産に推すことに理解を示し始めている」と。

鷹巣町、そして秋田県の誇りであるこの遺跡を遺跡公園として整備しつつ日本全国に向けてPRし、縄文の祖霊に応えたい。この遺跡の本格的な整備と活用は地元小ヶ田集落の願いであり、その実現のために協力を惜しむものではない。

「伊勢堂岱遺跡これからの展望」

工藤 警寿一さん



発掘作業が始まってもう6年。町に移管されて4年。念願の国指定を受けますが、当町としては国指定なものは単なる始まりだと思います。大湯ストーンサークルは発掘を始め70年、今も盛んに進められています。まだまだ、伊勢堂岱は始まったばかりです。現場では調査員2名と作業員24、5名で作業していますが、環状列石Aは露出しているが、まだ、Cは半分、Dは極一部分だけで、更に大きな古代ロマンが眠っています。一刻も早くそのロマンを開いてみたいものです。これからは更に発掘と維持管理に長い時間がかかることでしょう。そこで、私から提案があります。今、素晴らしい調査員がいるわけですが、町内からも調査員がでてほしいと思います。短時間でなれるものではないので、町当局は長い目で若い学生を奨励して育成するように希望するものです。

「縄文の遺跡に学ぼう」

清水 清治さん



飛行場がある福祉の町、我が故郷鷹巣町に、国内有数の国指定史跡が誕生します。

それは、約4千年前の縄文時代後期に、この地方に住む人々たちでつくられた記念物である伊勢堂岱遺跡です。

周囲の山々と鷹巣盆地が一望できる高台にあり、祖先を敬い子孫繁栄を祈願するための神聖な「祭祀の場所」であると言われ、この遺跡から学ぶことが多いことに驚きます。

この遺跡は、近代的発展のみにこだわらずに、現代失われつつある真心のよりどころやボランティア精神などが育まれるように復元し、真の縄文文化の伝承史跡として再現しその効果をもって町の発展に寄与されたいと望んでいます。

ここがすごい 伊勢堂岱遺跡 わたしは思う

これまで、伊勢堂岱遺跡に関わってきた人たちの思いを語っていただきました。

「学んだことを生かしたい」

長岐 学さん



伊勢堂岱遺跡が国指定となることは、僕たちにとっても鷹巣町にとっても大変喜ばしい事です。

ワーキンググループの先輩達の今までの苦労が、この結果に結びついたのだと思います。

僕はこのグループに参加して一年も満たず、遺跡に対する知識はまだ不足していますが、今後も学習会に参加して早く先輩達のように、訪れた見学者に少しでも遺跡の素晴らしさを伝えられたら、と思っています。春になると、また伊勢堂岱が公開され、僕もワーキンググループの一員として、グループの先輩や見学者の人たちに役に立てるように努力したいです。

また、講演会・勉強会にも積極的に参加したいと思います。

「遺跡ボランティアに参加して」

小嶋 節子さん



我がふる里の文化財伊勢堂岱遺跡で、遺跡ガイドをしてから4年になります。見学者を待ちながら、4千年前の悠久の昔に想いを馳せ脈々と営まれてきた人類の歴史を思うと、現代社会に生きている私は、ほんの一瞬の営みをしているのだと痛感させられます。

この遺跡には、日本の各地から見学にきています。各地から来た人達にガイドし、見学者から話を聞くと縄文人の世界観を探ろうとする人もおり、私自身の視野も広がります。

国指定を受けると、さらに見学者も増えると思うので、ガイドの人数を増やさないと対応しきれなくなると思います。そのために環境整備をしたり、見学者にわかりやすい解説をするため今以上にガイド研修会を定期的に継続する必要があります。

祖先が残したこの文化財を町の誇れる宝として、保護活用していくために遺跡ワーキングに入り私たちと活動していきたいです。

発掘調査はこう進められた 伊勢堂岱遺跡の国指定史跡までのあゆみ

昭和5年頃	国鉄阿仁合線（現在秋田内陸縦貫鉄道）建設の際、大量の土器・石器が見つかる
平成4年7～12月	秋田県教育委員会による分布調査（遺跡が公に周知される）
6年 11月	秋田県埋蔵文化財センターによる道路予定地の範囲確認調査
7年 5月	秋田県埋蔵文化財センターによる発掘調査（平成7年度調査）開始
	環状列石A発見
	環状列石B発見。多くの発見が続く
8年 1月	県教委・県土木部、環状列石の移設保存を予定
4月	平成8年度調査開始
10月	町では町文化財保護審議会上に諮問した結果、伊勢堂岱遺跡を現地保存すべき、という答申を受け、遺跡の現地保存・道路のルート変更を県土木部へ要請
11月	ハンドボーリング探査により、環状列石Cを発見 秋田県が「環状列石とそれに伴う建物跡や捨て場などの施設がセットで見つかる例は、当時の環状列石を中心とした祭祀を知る上で非常に貴重である。環状列石のみ移設することは遺跡を消滅させるに等しい。」という見地から遺跡の現地保存、道路のルート変更を決定
9年 4月	鷹巣町に遺跡の管理が移される
6月	鷹巣町による詳細分布調査（平成9年度調査）開始 範囲確認調査開始
7月	鷹巣町文化遺跡ワーキンググループ発足
9月	環状列石Cの部分的な発掘調査開始（全体の1／10）
10年 4月	秋田県埋蔵文化財センター秋田北分室が当町に設置される
5月	鷹巣町による平成10年度調査開始
7月	環状列石Cの部分調査再開（全体の1／4）
12月	鷹巣町埋蔵文化財整理室完成
11年 4月	平成11年度調査開始「米代川の縄文文化展」開催
6月	伊勢堂岱遺跡調査指導委員会。発足環状列石Cの部分調査再開（全体の1／2）
9月	地形を区切る全長100メートルの溝跡発見
12年 3月	国指定史跡指定申請に関する説明会開催（土地所有者）
4月	平成12年度詳細分布調査開始 範囲確認調査結果により指定申請範囲を決める
6月	第1回調査指導委員会開催
7月	国指定史跡指定申請書提出
8月	ハンドボーリング探査によって、列石Cの南側に新しく環状列石D発見（長径36m・短径32m） 文化庁が指定申請地を現地調査
9月	第2回調査指導委員会開催（指定申請書提出の報告）
10月	文部大臣から国文化財保護審議会へ諮問
11月	国文化財保護審議会から「縄文時代後期（約4千年前）の複数の環状列石とそれに伴う建物跡や墓など、当時の祭祀（祭り・祈り）に関する様々な施設が発見されたうえに、当時の土木工事例としても重要な施設も見られ、当時の典型的な祭祀遺跡として極めて重要である」として文部大臣へ国指定史跡の答申
13年1月中旬	伊勢堂岱遺跡の国指定史跡指定について官報に告示（予定）



現地保存を決定した頃の様子



遺跡の案内をするワーキンググループ

福祉の総合相談窓口として

「げんきワールド」がオープンします

― 全額国庫補助により建設される施設です ―

1月6日に福祉の総合相談窓口として『げんきワールド』がオープンします。

この施設は、商店街の中心部という好立地条件を活用し、子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に利用できる世代間交流の場、生きがい活動を支援する場として幅広く町民の皆様にご利用いただける施設です。（土・日・祭日も行っています）

また、介護予防のための拠点施設として、要介護状態にならないための様々な取り組み、健康づくりに関する情報の提供、介護に関する知識・介護技術の普及促進、さらには介護保険をはじめとする各種福祉保健サービスの相談や全国からの視察対応など、福祉の総合窓口としての機能をもっています。

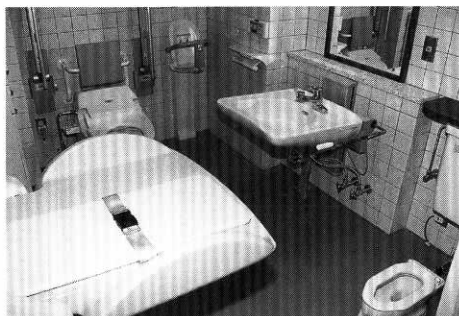


誰もが気軽に利用できる施設「げんきワールド」



【健康増進プラザ】

各種福祉、保健サービスや介護保険サービス、痴呆予防、福祉用具、介護機器などの情報提供をはじめ、町民の皆さんの憩いの場、休憩場所としてもご利用いただけます。



【みんなのWC】（1階、2階）

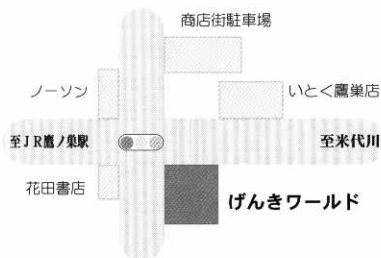
車イスでのご利用はもちろん、子ども用トイレやお子様連れでも安心してご利用できる設備を完備しています。



【相談室、会議室】

各種福祉、保健サービスや介護保険サービス、痴呆対策、福祉用具・介護機器などについて、個別相談に応じます。

「げんきワールド」の場所



「げんきワールド」平面図



【交流プラザ】
・世代間交流の場、ボランティア活動の支援の場として、さらには全国各地からの視察対応など、幅広い事業展開が可能です。



【研修・文化プラザ】
介護技術講習会や生きがい活動の支援の場としてご利用いただけます。



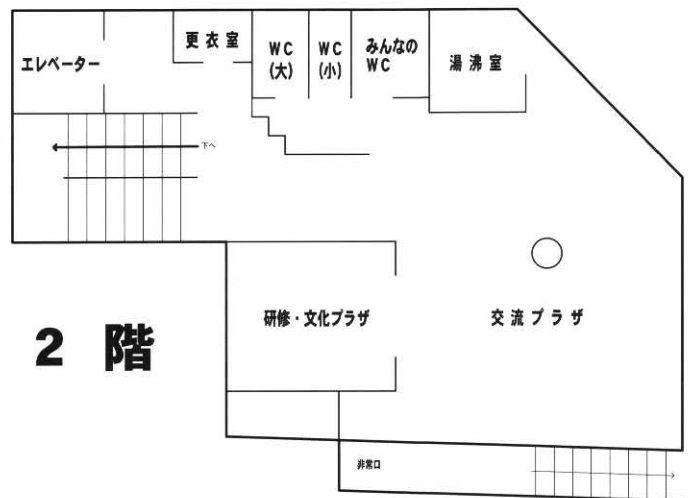
【事務室】

町、社会福祉協議会、たかのす福祉公社の職員が配置になっており、福祉サービス等の連絡調整がスムーズに行われます。

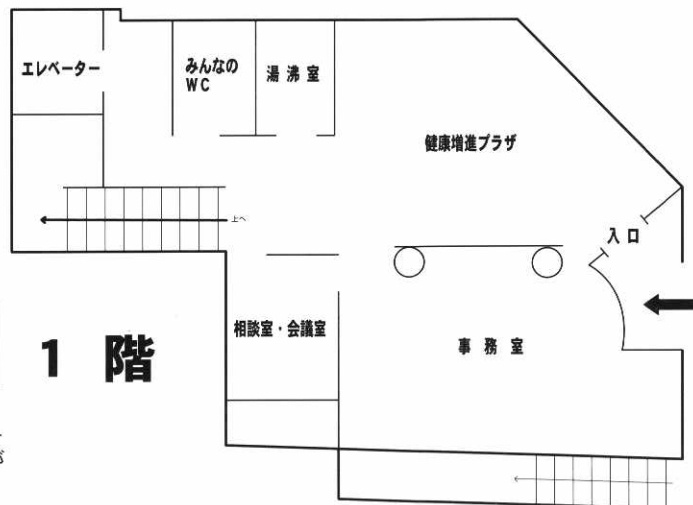


【エレベーター】

車イス対応のエレベーターで、2階まで気軽に行き来ができます。



2 階



1 階

町長日誌

12 / 1
15

- 1日 (金) 商工会法施行40周年記念式典に出席。
- 2日 (土) あきたボランティア・市民活動推進フォーラムにパネラーとして出席。
- 2日 (土) 秋田県リハビリテーション研究会で講演。
- 4日 (月) 福祉のまちづくりフォーキング全大会に出席。
- 5日 (火) 社会福祉協議会理事會に出席。
- 5日 (火) 北秋田郡町村会と県選出国會議員との懇談會。
- 6日 (水) 全国町村長大会に出席。
- 7日 (木) 第62回国民体育大会鷹巣町準備委員會設立總會に出席。
- 7日 (木) 坊沢地区担い手育成事業全体説明會に出席。
- 8日 (金) 北海道・東北ブロック保健婦研修會講演。
- 8日 (金) 下舟木自治會へロクハウスを贈呈、「ふれあいステーション」と名付けられ、ふれあい通院バスの待合室として利用されることになった。
- 11日 (月) 第8回鷹巣町議會議定例會。
- 11日 (月) 北秋田森林組合「山神祭」に出席。
- 11日 (月) 厚生大臣表彰を受けた木村精肉店、伊藤義直氏日本食品衛生協合理事長表彰を受けた佐藤勝雄氏の受賞祝賀會に出席。
- 12日 (火) 秋田県町村會理事會に出席。
- 13日 (水) 議會議定例會一般質問、町村合併、介護保険、公共下水道、農業問題等4名の議員からの質問に對して答弁。
- 14日 (木) 議會議定例會一般質問、伊勢堂岱遺跡、ごみ問題、少子化問題等3名の議員からの質問に對して答弁。
- 15日 (金) 日沿道・インターチェンジ設置期成同盟會による街頭キャンペーンに参加、運動に對する理解と募金への協力を呼びかけた。
- 15日 (金) 鷹巣阿仁地域シルバー人材センター鷹巣地區會員交流會に出席。

《12月定例議会》

行政報告

平成12年12月定例議会は、12月11日から21日までの会期で開かれました。議会初日には提出議案の大綱質疑が行われ、13日、14日の2日間にはわたって一般質問15日からは各常任委員会で付託議案等を審議し、21日に閉会しました。12月定例議会の行政報告（総務財政課から農林課まで）は次のとおりです。

なお、次号では行政報告の続きと、補正予算の概要についてお知らせします。

総務財政課関係

福祉先進国であるデンマークからユッテ・アナセン住宅都市大臣（男女平等大臣兼務）が、9月20日に鷹巣町を公式訪問され、町内の高齢者住宅の現状や住民参加に基づき建設された福祉施設などを見学

しました。

「ケアタウンたかのす」では、ワーキンググループの全体会にも参加され、バリアフリーの考え方などについてアドバイスをいただきました。

まちづくり政策課関係

9月24日に、東京都三鷹市で市制50周年記念事業「みとかフェスタ2000」が開催され、鷹巣町からは郷土芸能で綴子上町太鼓保存会、物産販売では物産協会が参加しました。

平成12年国勢調査が10月1日を基準日として実施され、鷹巣町では141の調査区を129名の調査員で調査を行いました。調査結果は総務庁統計局で今後5年間かけて集

計されることになっておりますが、各市町村の人口と世帯数の確定値は来年度、また速報値は年度内にも公表される予定です。

10月8日、町民約450人が参加して「日本海沿岸東北自動車道・インターチェンジ早期着工、鷹巣中岱橋（仮称）早期建設をめざす町民決起集会」が開催され、集会決議として、早期実現に向けた募金運動を行うことを誓い合いま

した。

10月29日、東京鷹巣会の総会・懇親会が東京都内のホテルグランドパレスで開催され、首都圏の鷹巣町出身者を中心に約150人が参加しました。今年は「ふるさと太鼓」の一行22名が参加して太鼓の妙技を披露し、大きな喝采を受けました。

住民サービス課関係

「犬のしつけ方教室」を9月15日に役場裏駐車場を主会場として開催しました。飼主と家族ら約40人が公認訓練士の指導のもと、犬の習性を知ることや服従訓練をとおして、愛犬との理想的な共生生活を学び合いました。

9月17日に行われた秋のクリーンふるさとデーでは、町内会を中心に163団体、約3500人の参加があり、道路・河川・公共広場等のごみ約21トンが一掃されました。

秋の家庭粗大ごみの自己搬入が、10月21日、22日の2日間行われ、昨年より71件少ない155件の受付となり、リサイクル意識の広がりを感じられました。

また、高齢者世帯等でどうしても自己搬入できない方々

10月11日に綴子地区「地域づくり予算ワーキング」がモデル的に設立されました。現在、①生活と環境を考えるグループ、②綴子の歴史と文化を考えるグループ、③地域福祉を考えるグループ、の3つのグループに分かれ、課題の提案や現地調査など行いながら活発に活動しています。

42件については、11月7日までに回収を終えました。

7月から開始した家庭用電気生ごみ処理機購入費の補助制度への申請は、11月末日現在19件の申請となっており、生ごみの減量化が進められています。

平成13年4月から家電リサイクル法が施行され、対象の洗濯機・テレビ・エアコン・冷蔵庫の4品目に、消費者が処理料金を負担することになります。

大館北秋田支部防災訓練が、9月10日に鷹巣町中心市街地で実施され、患者避難誘導、避難はしごを使用した避難訓練やバケツリレー、水幕ホース設置訓練等を行いました。また、防災ヘリコプター「なまはげ号」による高所吊り上



げ訓練も行われました。

秋の交通安全運動が9月21日から30日まで「高齢者の交通事故防止、チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底、飲酒運転の徹底追放」を

福祉保健サービス課関係

平成11年度の献血状況は、11月末まで399本で、今年度目標820本に対し48・66%です。

各種集団検診は、基本、胃ガン、乳ガン、大腸ガン、肺ガン、子宮ガン、結核など延べ8488名が受診しました。健康大学は、今年度七日市地区を対象に7月19日から10月20日まで5回開催し、延べ472名が出席しました。また、健康の広場は「健康たかのす21」をメインテーマに、11月22日鷹巣保健所との共催で開催され、429人の参加がありました。

鷹巣町社会福祉大会並びに老人福祉大会は、11月14日、たかのす風土館で関係機関・一般住民約520人が参加して開催され、社会福祉功労等表彰28人、ダイヤモンド婚9組、金婚93組の方々に寿詞を贈呈しました。

要介護認定と介護サービス

重点スローガンに実施され、鷹巣小学校金管バンドと交通関係者によるパレードを行い、交通安全思想の普及と高揚に努めました。

利用の状況は、10月末の認定

者数は、要支援が55人、要介護1が135人、要介護2が136人、要介護3が118人、要介護4が124人、要介護5が146人、合計714人となっており、8月末の介護サービス利用に係る保険給付の実績では、居宅サービスが437人、施設サービスが207人となっています。

また、第1号被保険者保険料の納付が10月から開始され、10月当初の保険料の納入義務者数は、特別徴収が5039人、普通徴収が717人、合計5756人となっています。ケアタウンⅡ期造成工事は、11月30日で全工区の工事が完了、土地開発公社の検査も終了しました。

「げんきワールド」は、10月30日に改修工事が完了し、11月16日に県の検査が終了しています。

国民健康保険の運営状況は、

農林課関係

費用額の上半期（4月～8月診療分）前年度対比で一般7・95%減、退職は1・51%増、老人は8・31%減となっております、老人の医療費が下がった

今年の稲作状況の概況は、

県全体で「101」の「平年並み」、県北でも「102」の「やや良」となりました。また、1等米の比率は昨年の58・1%を上回る73・6%となりました。

畑作関係は、主要品目である夏秋キュウリやシシトウ、ベイナスなどの収穫量、出荷量は順調な伸びを示しておりますが、市場価格の低迷により、10月末現在の青果物出荷状況は、全作物の販売額では1億8717万円（前年比10・3%減）となっています。

11月19日開催の「ししとう料理コンクール」は、一般公募により料理部門に26点、加工部門に12点の合計38点のアイデア作品の応募がありました。最優秀賞には、料理部門では「ししとうグリーンとうふ」

上舟見グループ、加工部門では「ピリカラたんぼ」工藤愛子さんがそれぞれ受賞しました。

ことが特徴的ですが、要因としては、老人医療から介護保険へ移ったのが大部分であるとみえています。

町営牧場については、10月26日に無事10度目の退牧を行いました。

県営担い手育成基盤整備事業は、「前山・摩当地区」「檜木田地区」でそれぞれ90%、「三ノ渡地区」「合地地区」は、それぞれ45%、「松沢地区」は、52%の進捗率となっています。

県営水環境整備事業「釜堤地区」は、10月下旬に発注した東屋建築工事を含め進捗率は70%と順調に推移しています。

流域森林総合整備事業は、除伐4・7haと間伐26・5haの業務委託で11月下旬に完了しました。

地籍調査事業は、本年度調査対象区域（23字、282ha）で10月まで要再立会箇所調査を実施しました。

また、平成11度調査実施地区の本閲覧を10月18日で終了し、国への認証事務作業を進めています。

銀座通り商店街で募金運動

日沿道募金街頭キャンペーン

12月15日、日本海沿岸東北自動車道・インターチェンジ設置鷹巣町整備促進期成同盟会（会長 岩川町長）の役員たちが、銀座通り商店街で募金街頭キャンペーンを行ない、行き交う人たちに募金を呼びかけました。

この募金運動は、日沿道・鷹巣中岱橋早期実現町民決起集会から始められているもので、目標は一千万円となっています。

同盟会では、募金は一〇千円として金融機関の窓口に振込用紙が用意されており、皆さんの善意を呼びかけています。



商店街を行き交う人たちに募金を呼びかける

「おはなしでてこい！」

おはなしでてこいスペシャル

12月16日「おはなしでてこいスペシャル」がファルコンで行われ、約90人の子どもたちが、手作りの大型紙芝居やエプロンシアター、人形劇、ハンドベルなどを楽しみました。

「おはなしでてこい」は、毎月第3土曜日に、図書館ボランティア「たまてばこ」（佐藤スゲ子会長、会員21名）が行なっているものです。今回はそのスペシャル版で「おはなしでてこい」の掛け声とともに「たまてばこ」から絵本が出てくると、子どもたちは目を輝かせ、おはなしを聞いていました。



「手あそび」で元気に遊ぶ子どもたち

より良い子育てを考える

地域子育てフォーラムin鷹巣

12月17日、鷹巣町親子会主催による「みんなで育てる地域の子 ふれあうぬくもり あなたと私」をテーマとした「地域子育てフォーラム」が広域交流センターで開かれ、関係者など約70人が参加し、子育てや子どもとの関わり方などについて熱心に議論しました。

パネラーからは「子育てから保護者が逃げたはダメ」「子育てを楽しめるようニーズにあったサークルがほしい」「核家族化が進むなか、地域で子育てに関心をもっていかなければ」などの意見が出されました。



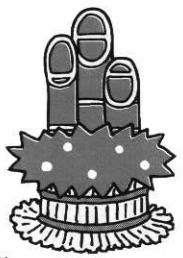
熱心に議論された「子育てフォーラム」

クロスワードパズル

今年から _____

答えは

A B C D E F G H I

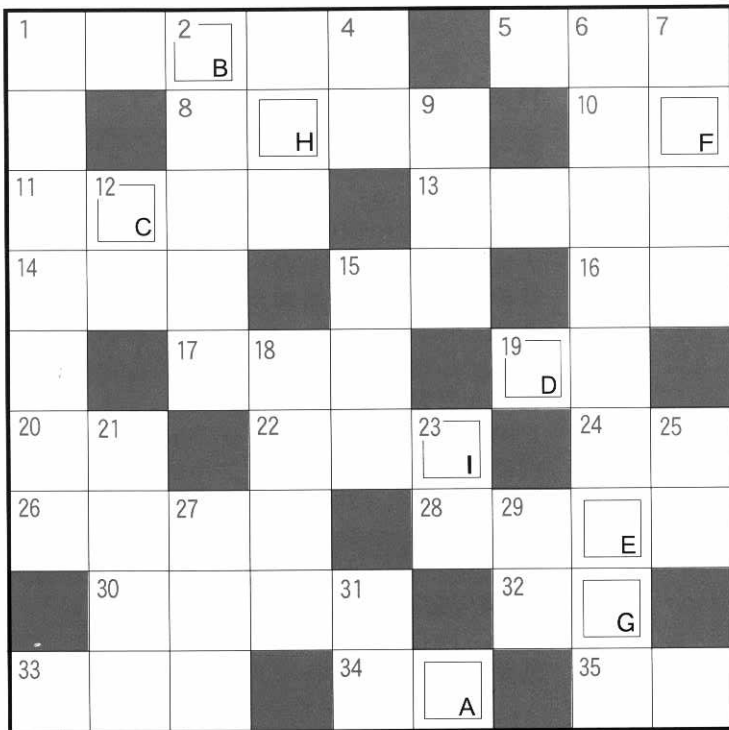


パズルの解き方

縦と横のキーをヒントにクロスワードを解いてください。二重枠になっているA~I(9文字)を順番に並べるとそれが答えです。

●応募方法 官製ハガキに答えと住所、氏名、年齢、職業(小・中・高校生は学校と学年)を書いて、鷹巣町役場総務財政課広報広聴係(〒0183360 鷹巣町花園町19番1号)までお送りください。正解者の中から抽選で10名の方に図書券をプレゼントします。

●締め切り 1月15日(月) 消印有効



タテのキー

1 今年1月6日、商店街にオープンする施設。

2 シドニーオリンピックで、田村亮子が金メダルを取った競技種目。

4 三重県の県庁所在地。

6 国指定史跡となる町の遺跡。

7 一回結婚して別れた人、またはそのこと。

9 お金を銀行などに預けること。

12 英語で私はアイ、あなたは。

15 主権者が国家を治めること。

18 無駄をはぶき、能率のあがるようにすること。

21 秋にむらさき色でつりがね形の花を咲かせる花の名前。

23 鳥の卵の中にある、黄色い濃い液体で、胚の栄養となるもの。

25 紅白歌合戦の最後に歌う人を、○をとるという。

27 「ヘンデルとグレーテル」などがおさめられているドイツの有名な童話集。○○○童話集。

29 業界用語で、「かつら」の別名。まじりけがなく、純粹なこと。

ヨコのキー

1 岡本太郎さんは「○○○○○」はばくはつだ」という名言を遺した。

5 牛や馬などの飼料。

8 ものごとの経過してきたみちすじ。○○○○ある家柄。

10 2月3日は○○○ぶん。

11 傷病者などの看護、治療などをすること。

13 すれすれ。あぶない。わいせつに近いこと。○○○○話。

14 エクセルは表計算ソフト。○○○は文書作成ソフト。

15 ブタが寝ている場所。○○ネル。関西の方言の女性語。自分、わたしのこと。「○○は知らんよ」。

17 カラスのようにばらばらに寄り集まること。○○○の衆。

19 環境に適応する生物だけが生きのこる。「自然と○○」。

20 紫がかった紺色。○○色。おとなしくて、遠慮ぶかい性質。

22 繊維をよりあわせたもの。○かし、くぬぎ、ならなどの実。○○○の背比べ。

26 すもうで、組み合ったまま勝負がつかないとき、途中でひと休みさせること。

28 ドリームズ・カム・トゥルーを略して呼ぶと。

30 巻貝のからのように、ぐるぐる巻いた形のを「○○ん」という。

32 映画のタイトルにもなった。

33 胃のレントゲン写真をとるときに飲む白い液体は、バ○○○。

34 自分の身を苦しめてかえりみないようすを「○○くの策」という。

35 元素記号Au。原子番号79。平成十二年を表わす漢字に選ばれたのは○○○。

1月の健康ごよみ

◎お問い合わせ

鷹巣町保健センター ☎62-6666

妊婦の方

◎母子健康手帳交付と第1回母親学級

日時 9日(火) 22日(月)

受付 午後1:00~1:10

終了 午後3:00頃

持参 印鑑

キッズパーク (子育てサークル)

日時 5日(金) 19日(金)

午前10:00~11:30

内容 親子遊び・話し合い・相談など

持参 バスタオル・着替え・その他必要なもの

平成12年2月~3月生まれのお子さん

◎10ヶ月児育児相談

日時 10日(水) 受付 9:30~9:40

持参 母子健康手帳・アンケート票

バスタオル・おしぼり・コップ

平成10年10月~11月生まれのお子さん

◎2歳児歯科健康診査

日時 16日(火) 受付 1:00~1:10

持参 母子健康手帳・アンケート票

歯ブラシ・バスタオル

平成9年8月~9月生まれのお子さんのいる方

◎3歳児健康診査

日時 1月10日(水) 受付午後1:00~1:10

持参 母子健康手帳・アンケート票

歯ブラシ・バスタオル・尿容器

生命の貯蓄体操

◎各会場の日程

(午前9:30~11:30)

鷹巣町保健センター 9・15・22・29日

サテライトさかえ 9・16・23・30日

坊沢公民館 10・17・24・31日

綴子基幹センター 10・17・24・31日

七日市基幹センター 11・18・25日

葛黒林業センター 11・18・25日

青葉荘 12・19・26日

(午後7:00~9:00)

地域福祉センター 10・17・24・31日

あけぼの町内会館 11・18・25日

沢口林業センター 11・18・25日

第4回生き生き健康教室

日時 1月11日(木) 午後1:00~3:00

内容 健康劇「健康日本21ってなあに？」

保健センター職員一同

「高齢者介護の現場から」

たかのす福祉公社 看護部長 成田康子

献血日程

1月9日(火) 全血

10:00~11:00 社会保険事務所

11:30~13:00 県北自動車学校

14:00~16:00 総合庁舎

健康相談

◎定例健康相談 (保健センター)

日程 11日(木) 24日(水)

時間 午前10:00~12:00 午後1:00~3:00

内容 健康相談、血圧測定、尿検査

健康教育ビデオ「禁煙、それは愛」

◎いきいき健康相談 (鷹巣町訪問看護ステーション)

日程 毎週火金 午前9:30~12:00 (祝日は)
午後1:00~4:00 (休みです)

内容 健康相談・血圧測定など

夜間当番医(診療)日程表

(午後6:30~9:00)

日	曜	医療機関名	電話番号
1	月	北秋中央病院	62-1455
2	火	北秋中央病院	62-1455
3	水	北秋中央病院	62-1455
4	木	奈良医院	62-1146
5	金	佐々木産婦人科医院	63-0105
6	土	盛岡外科医院	62-1101
7	日	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
8	月	としま医院	62-1267
9	火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
10	水	北秋中央病院	62-1455
11	木	近藤医院	62-1155
12	金	津谷内科	62-2261
13	土	北秋中央病院	62-1455
14	日	遠藤クリニック	63-0515
15	月	たむら内科クリニック	63-2700
16	火	藤原医院	62-2882

◎応急の診察を要する患者
◎往診はしておりません。
◎仕事や職場の都合で夜間
診療を受ける場合は、診

※年齢・病気の病状にかかわ
らず当番医に電話等で相
談ください。
療に応じかねます。



スポーツ

☎62-3800

- 1・1 (月) 元旦マラソン 役場前スタート・ゴール
- 1・14 (日) 第18回薬師山学童クロスカントリースキー大会 薬師山スキー場
- 1・27 (土) 郡市中学校バレーボール1年生大会 鷹巣体育館
- 1・28 (日) 第39回町民スキー大会 薬師山スキー場
- 1・28 (日) 二階堂杯第18回中学校ソフトテニス選抜選手権大会 鷹巣体育館

募集

硬式テニス教室

今年も硬式テニス教室を下記の日程で開催します。
奮ってご参加ください。

- 日 時 平成13年1月15日～3月26日(全10回)
毎週月曜日 午後7:00～9:00 (2/12日を除く)
- 場 所 鷹巣体育館(ラケット貸与有り)
- 参加費 1,000円(ボール代、保険料)
- 申し込み 当日体育館で受付(随時受付します)
- ◎お問い合わせ
鷹巣町役場 ☎62-1111 内線141 三沢忠博

ママさんソフトテニス教室

初心者、経験者を問わずどなたでも参加できます

- 日 時 平成13年1月25日～2月23日
(毎週木金 計10回) 午前10:00～12:00
- 場 所 鷹巣体育館
- 持 参 ラケット(貸与あり)、上履き
- 申し込み 鷹巣体育館 ☎62-3800
- ◎お問い合わせ ☎62-9894 勝又

ひまわりの家からのお知らせ

- 休館日 1, 2, 9, 15, 22, 29日
- 第2第4土曜日はふれあいの日(小学生無料)
- イベント予定
1月4日13:00～ 富士幸男新春歌謡ショー
1月5日12:00～ 池田進・立花裕子新春歌謡ショー
1月8日 9:00～ 冬休み親子工作教室
1月12日11:00～ 『新春を祝うつどい』

人口と世帯数

		前月比
11月30日現在	総人口 22,326人 (16人減)	
住民基本台帳による	男 10,651人 (13人減)	
	女 11,675人 (3人減)	
	出生 14人 転入 34人	
	死亡 27人 転出 37人	
	世帯数 7,689世帯(6世帯減)	



ファルコン

☎62-3311

- 1・7 (月) 映画「あかね色の空を見たよ」
①10:00～11:40 ②13:30～14:10
③15:00～16:40
入場料 大人 1,000円 子供 500円
- 1・13 (土) 堀部・畠山ピアノ教室合同発表会13:30～
- 1・20 (土) 名作こども映画会「ジャックと豆の木」
入場料 900円 14:30～16:20
- 1・28 (日) 朗読ボランティアやまびこ20周年記念事業
「朗読コンサート」 14:00～



中央公民館

☎62-1130

【1月のロビー展】鷹画会

- 1・10 (水) 新春交流会(商工会女性部主催)
16:00～18:30
- 1・13 (土) ふるさとの歴史教室(公開講座)
講師 大館商業高等学校教頭 永井高道氏
「徳川三代と秋田藩」 13:30～15:00
- 1・13 (土) 新春チャリティーダンスパーティー
19:00～21:00
- 1・24 (水) J A鷹巣町青果物生産者大会
13:00～17:00
- 1・26 (金) 全日本交通安全協議会長表彰受賞祝賀会
17:30～19:30



1月の町立図書館

1、2、3、4、8、10、17、21、24、25、
26、27、28、29、30、31日は休館日です
開館時間 9:00～17:00
※蔵書点検のため1月25日から31日まで
休館となります。ご協力をお願いします。

お知らせ

点字講習会を開催します

中途失明者(視覚に障害のある方)を対象に、下記の
とおり点字講習会を開催します。

- 期 日 平成13年1月28日(日)
- 時 間 午前10:30～午後3:00
- 場 所 鷹巣阿仁広域交流センター2階会議室
- 参加費 無料(昼食代は各自負担)
- 申込期限 1月24日(水)
- ◎申し込み、お問い合わせ

北秋盲人会事務局 ☎72-3278 または
(社)秋田県視覚障害者福祉協会 ☎018-864-2783

ぜんい

～ありがとうございました～

香典返し

- 五十嵐健司郎さん（元 町）から亡父 與次郎さん
- 大 川 修さん（堂ヶ岱）から亡父 岩吉さん
- 成田 佐吉郎さん（住吉町）から亡母 キツさん
- 高 橋 敦 子さん（あけぼの町）から亡夫 美津男さん

一般寄付

- 鷹巣町婦人団体連絡協議会 会長 中嶋喜代さんより
婦人芸能祭収益金として3万円

募 集

合併処理浄化槽を 設置しませんか

町では、下水道事業、農業集落排水事業の区域外の
方々を対象に、合併処理浄化槽設置整備事業という補
助制度により、快適な生活環境づくりを進めています。

補助金額については、設置される家の延べ床面積に
よって異なりますが、おおよその目安として、

- ・5人槽（延べ床面積160㎡以下） 375,000円
- ・7人槽（延べ床面積161㎡以上） 438,000円
となっています。

なお、平成12年度補助事業ですので、3月10日
までに工事を終了することが条件となります。

- 申込期限は、平成13年1月12日 です。
（申込者が多い場合は、抽選となります）

◎申し込み、お問い合わせ

役場住民サービス課環境・リサイクル係
☎62-1111内線126・127

おしらせ

国の教育ローン

- 融資対象者 高校、短大、大学、専修学校、各種学
校などに入学又は在学されている方の
保護者で、年間収入が1210万円（事
業所得者は990万円）以内の方
- 使 い み ち 受験にかかった費用および入学時に必
要な学校納付金等の費用、在学中に必
要な授業料等の学校納付金、居住費、
交通費、国民年金保険料など
- 融 資 金 額 学生、生徒1人につき200万円以内
- 利 率 2.2%（平成12年10月15日現在）
- 返 済 期 限 10年以内
- ◎申し込み、お問い合わせ

国民生活金融公庫大館支店

〒017-8567 大館市御成町2-3-38

☎0196-42-3497 FAX0186-49-2925

おしらせ

第12回国際理解講座（公開講座）

- 日 時 平成13年1月22日（月）
午後1:00～3:00
- 会 場 大館市 秋北ホテル
- 講 演 「新しい米大統領と対外戦略」
講師 NHK解説主幹 長谷川 浩 氏
- 申し込み方法
往復はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、
希望会場を記入の上、1月12日（金）必着で
- ◎申し込み、お問い合わせ
〒010-0951秋田市山王4-2-3
秋田県市町村国際文化研究所 ☎018-883-0023

年金だより

80号

～ 保険料は所得税法上の控除になります ～

国民年金の保険料は、所得税法上、社会保険料控
除の対象となっておりますので、平成12年1月か
ら12月までの間に納めた保険料は、全額が所得額
から控除されます。本人分はもちろんのこと、家族
の分として納めた保険料も対象となりますので、年
末調整や確定申告の際は忘れずに申告しましょう。

対象となるのは、毎月納めている保険料のほか、
未納期間の分として納めたものや免除を受けていた
期間を納めた場合、また将来少しでも多くの年金を
受けるために国民年金基金に加入していれば、その



掛金も全額控除の対象となります。

★平成12年分「公的年金等の源泉徴収票」（ハ
ガキ）が送付されたら…

毎年1月末頃になると「公的年金等の源泉徴
収票」が送付されてきます。

源泉徴収票に記載されている事項は、その年
の1年間に受け取った年金の総額、源泉徴収税
額及び控除の内容等です。

申告の際、忘れずに持参してください。

（障害年金や遺族年金等は非課税となります）

慶弔だより

12月1日～15日届出分・敬称略



お誕生おめでとう
ございます

佐藤 愛菜 (浩文) 長女 前 野
小笠原 美奈 (隆) 長女 花園町
小棚木 華奈 (一公) 長女 前 山



お二人の前途を
祝福します

(内藤 浩巳 阿仁町
小坂 陽子 花園町
佐藤 誠 堂ヶ岱
成田 京子 ニツ井町

おくやみ申し上げます

櫻井 美代子 (74歳) 前 野
出川 吾郎 (87歳) 糠 沢
松尾 精一 (83歳) 太 田
津谷 幸雄 (68歳) 坊沢上町
佐藤 七五郎 (84歳) 前 野
佐藤 與助 (92歳) 妹尾館
田島 芳次 (56歳) 宮前町
仲谷 スエ (86歳) 今 泉
飯島 宏二 (57歳) 糠 沢
島山 タカ (92歳) 七日市大畑
和田 シゲ (77歳) 東横町
佐藤 春男 (71歳) 小 森
戸澤 藤藏 (99歳) 前 山

税

の納期限

国民健康保険税 第6期

1月4日まで

年始の役場や施設について

今年もよろしくお願いします。

- 役 場 1月4日 (木) から平常どおり
- 湯の岱温泉 1月2日 (火) から平常どおり
- 大太鼓の館 1月2日 (火) から平常どおり
- 鷹巣体育館 }
- 地域福祉センター }
- 竜森コミュニティセンター }
- ファルコン }
- 子供風土記館 }
- ゴミの搬入 }
- 町立図書館 1月5日 (金) から平常どおり
- ゴミの収集 1月2日 (火) から平常どおり
- し尿の汲み取り ... 1月4日 (木) から平常どおり
- 青 葉 荘 1月4日 (木) から平常どおり

※1月2日(火)午前11:00から
大太鼓たたきぞめを行います。

1月4日(木)から平常どおり

建設工事の入札参加資格申請の 受付について

鷹巣町が発注する建設工事の入札参加資格審査は隔年となっており、平成13年度は定期申請年次にあたっております。

受付する工種については次のとおりですので、申請書類一式を添え提出願います。

■資格要件 (次の要件を満たしていなければ申請できません)

- ・申請日において建設業の許可を取得していること。
- ・経営事項審査(平成11年6月30日以降を審査基準日とするもの)を受けている事業所(個人)であること。
- ・禁治産者または準禁治産者でない者、後見の登記の通知を受けていない者、破産者で復権を得ている者。

■受付する工種

- ・一般土木工事・建築一式工事
- ・吹付工事・電気工事・給排水暖冷房衛生設備工事・鋼構造物工事・舗装工事・一般塗装工事
- ・路面表示工事・機械器具設置工事・電気通信工事・造園工事

- ・さく井工事・水道施設工事 (14工種)

■申請書に添付する書類 (提出部数は各1通)

- ・経営事項審査結果通知書の写
- ・経営状況分析終了通知書の写
- ・建設業許可書の写
- ・工事経歴書 (過去2年間)
- ・技術職員名簿
- ・技術者免許書の写 (各個人毎のコピー)
- ・登記簿謄本の写 (法人の場合)
- ・業者カード
- ・建設業退職金共済事業加入履行証明書 (建設業退職金共済に加入している者)
- ・社会保険料納入証明書
- ・町税納税証明書
- ・使用印鑑証明書

■受付期間 平成13年1月4日～2月28日

◎提出先及びお問い合わせ

総務財政課契約係(2階5番窓口) ☎62-1111内線224・225

鷹巣町役場総務財政課広報広聴係
 利田昌七秋田県鷹巣町花園町19番1号
 電話・発行

昭和49.7.7日



鷹巣町役場総務財政課広報広聴係
 利田昌七秋田県鷹巣町花園町19番1号
 電話・発行

昭和49.7.7日